

コア歯学教育演習（I）

責任者・コーディネーター		歯科保存学講座（歯周療法学分野）八重柏隆教授 微生物学講座（分子微生物学分野）石河太知教授 歯科保存学講座（歯周療法学分野）佐々木大輔教授	
担当講座（分野）		歯学部全講座（分野）	
対象学年	4	区分・時間数	講義/演習 実習
期間	通期		前期 13.5時間 後期 117.0時間

学修方針（講義概要等）

必修（CBT学内）試験、ネット模擬試験、3クール制の総合試験・解説講義やICTを活用した繰り返し演習を実施することにより、4年次後期までに履修する歯科医学的重要事項を再確認し修得する。本科目を履修することで5年次臨床参加型実習に必要な且つ十分な基本的な学力を養い、歯科医学的知識基盤の確立を目指す。

教育成果（アウトカム）

4年間の学部教育の中で、これまでに学んだ基礎歯科医学、臨床歯科医学および社会歯科医学についてICTも活用して各演習試験を繰り返し実施することによって、5年次の臨床実習に入る前に、これら履修済み歯科医学のコア歯学教育修得状況を自らが再確認できる。講義室演習試験（講義室でのDESS演習）、必修（CBT学内）試験、ネット模擬試験、総合試験ABCで判明した理解不足の弱点領域を復習することにより真に臨床実習を行うに足るレベルの知識を身につけることができる。

（関連するディプロマポリシー：4）

到達目標（SBOs）

大学間共用試験歯学系CBT合格に求められる歯科医学知識の不足部分を再確認し、5年次臨床実習の診断や治療計画立案等に役立つ知識として修得する。そこで4年次までの履修済み基礎歯科医学、臨床歯科医学、社会歯科医学を再び復習し、各自の弱点領域を補修することにより臨床実習を行う上で必要かつ十分な知識を身につけることを目標とする。

事前事後学修の具体的内容及び時間

事前学修（予習）は、シラバスに記載されている各回の演習・試験内容に関し教科書を用いて調べるものとし、各回最低30分以上を要する。適宜、コア歯学教育演習 I 解説講義等で事前学修内容の確認時間を設ける。

（事前学修：最低30分を要する 事後学修：最低30分を要する）

講義/演習日程表

区分	月日 (曜)	時限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
演習				DESS演習試験 詳細は次頁参照 3～7月 必修一般演習試験（学生の端末を使用、講義室演習）	過去の国試問題で知識水準を確認する。事前に「お試し演習」で予習してから試験に臨む。
	3/23 (土)	2		必修（CBT学内）試験 第1回必修（CBT学内）試験	
	8/19 (月)	2		必修（CBT学内）試験 第2回必修（CBT学内）試験	
演習				DESS演習試験 詳細は次頁参照 8～11月 必修演習試験（学生の端末を使用、講義室演習）：国家試験出題済み必修問題	過去の国試問題で知識水準を確認する。事前に「お試し演習」で予習してから試験に臨む。
	9/6 (金)	4		CBTネット模試説明会	
	9/6 (金)	5		必修（CBT学内）試験 必修（CBT学内）試験再試験（対象：1、2回目各試験の70%未満該当者）	
	9/28 (土)	1 2 3 4		CBTネット模擬試験 （他学部との関係で予備日10月5日（土）） CBTネット模擬試験① （矢巾キャンパスマルチメディア教室）	
	11/2 (土)	1 2 3 4		CBTネット模擬試験 （他学部との関係で予備日11月4日（月）） CBTネット模擬試験② （矢巾キャンパスマルチメディア教室）	

12/10(火)			4年(コア歯学)総合試験各1~4限(A)(B)(C)および解説講義	
12/11(水)				
~				
12/17(火)				
12/18(水)				
12/19(木)				
~				
12/25(水)				
1/6(月)				
1/7(火)				
~				
1/16(木)				

DESS講義室演習試験(合否判定・再試有)日程(詳細は別に示す)

演習	3/25 (月)	1 2 3 4		基礎領域 (2年次履修) 解剖・組織・生理・生 化 (3年次履修) 病理・細菌・薬理・理 工・衛生	過去の国試問題で知識水準を確認する。事前に「お試し演習」で予習してから試験に臨む。
演習	6/7 (金)	1 2 3 4		IDP, TxAD, FRコース (3年次履修) 修復・歯内・歯周・衛 生 (補綴系) 有床・クラブリ・他	過去の国試問題で知識水準を確認する。事前に「お試し演習」で予習してから試験に臨む。
演習	7/11 (木)	1 2 3		SmADコース 麻酔・高齢者・歯科放 射線	過去の国試問題で知識水準を確認する。事前に「お試し演習」で予習してから試験に臨む。
演習	8/19 (月)	3 4		基礎領域(必修) 必修問題の復習: 解剖・組織・生理・生 化・病理・細菌・薬 理・理工・衛生	過去の国試問題で知識水準を確認する。事前に「お試し演習」で予習してから試験に臨む。
演習	9/25 (水)	1 2 3 4		ASTコース (口腔外科) +必修問題の復習: 修復・歯内・歯周・有 床・口外・クラブリ、 高齢者・歯放・歯麻	過去の国試問題で知識水準を確認する。事前に「お試し演習」で予習してから試験に臨む。
演習	11/14 (木)	1 2 3		TxChildコース (小児歯科・矯正歯 科) +必修問題の復習: 小児・矯正	過去の国試問題で知識水準を確認する。事前に「お試し演習」で予習してから試験に臨む。

教科書・参考書・推薦図書…予め指定する図書はありません。

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年

成績評価方法・基準・配点割合等

【受験資格】

コア歯学教育演習（I）は、必修（CBT学内）試験、DESS演習試験、CBTネット模擬試験のすべてを受験し、かつそれぞれ所定の条件を満たしている場合に受験を認める。

・必修（CBT学内）試験

必修（CBT学内）試験第1回と第2回でそれぞれ7割以上得点すること。基準に達しない場合、再試験を受験し必要水準以上の基準を満たすこと。

・DESS講義室演習

各講義室演習試験に出席すること。講義室演習試験においては、各演習で正答率8割以上得点すること。臨床実地演習は全ての演習試験を履修すること。それぞれ基準に達しない場合、期限までに基準を満たすまで再演習試験を行うこと。

・CBTネット模擬試験

CBTネット模擬試験①②の2回（全てのブロック）を受験すること。

・出席

総合試験A、B、Cを受験し、総合試験解説講義を受講すること。

（成績優秀者は総合試験Cに関する解説講義を免除することがある）

前期講義室演習試験（3月～7月）、後期講義室演習試験（8月～11月）及び12月～1月実施の総合試験A、B、Cと総合試験解説講義のそれぞれで出席に関する規程を満たすこと。

以上全ての受験資格要件を満たすことを原則とする。

【合格判定基準】

- 1) 総合試験A、B、C全体の正答率（%、小数点以下切り捨て）が65%以上を合格とする。
- 2) 総合試験A、B、C全体の正答率が65%未満の場合でも、受験資格要件の各試験成績を考慮して合格とする場合がある。

【成績の取扱い】

- 1) 成績点は総合試験A、B、C全体の正答率（%、小数点以下切り捨て）を得点表記した結果とする（正答率65%の場合は成績点65点）。
- 2) 合格判定基準 2) の基準で合格した者の成績点は65点とする。

特記事項・その他（試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用等）

DESSお試し演習を演習試験前日まで演習設定する。各学生は同教材を事前に予習した上で、各演習試験に臨むこと。講義室演習試験実施日にはインターネットに接続可能なPC、タブレット等を準備しておくこと。必修（CBT学内）試験、CBTネット模擬試験及び総合試験A、B、CはCBT本試験と同様に原則としてマルチメディア教室PCを使用して実施する。

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的
デジタル一眼レフカメラ式 EOS8000D	1	臨床実習・診療用機器	4年総合試験用問題作成、臨床実習用および診療用機器

4年コア歯学教育演習 I

(必ずお試し演習で予習してから講義室演習試験に臨むこと)

4年講義室演習試験予定
(DESS演習可能なPC等
各自講義室に持参要)

上欄:演習数
下欄:出題数

3月25日(月)1限 8時50分～10時20分	4 (166)	解剖 (36)	組織 (35)	生理 (55)	生化 (40)
2限 10時30分～12時	2 (153)	病理 (68)	細菌 (85)		
3限 13時～14時30分	2 (157)	薬理 (60)	理工 (97)		
4限 14時40分～16時10分	2 (204)	衛生 I (102)	衛生 II (102)		
6月7日(金)1限 8時50分～10時20分	2 (128)	修復 (78)	歯内 (50)		
2限 10時30分～12時	2 (175)	歯周 (74)	衛生 III (101)		
3限 13時～14時30分	1 (103)	有床 (103)			
4限 14時40分～16時10分	2 (137)	CrBr他 I (69)	CrBr他 II (68)		
7月11日(木)1限 8時50分～10時20分	2 (171)	麻酔 (70)	放射線 (101)		
2限 10時30分～12時	2 (145)	高齢者 I (73)	高齢者 II (72)		
3限 13時～14時30分	予備	予備			
8月19日(月)3限 13時～14時30分	2 (169)	必基礎① (100)	必基礎② (69)		
4限 14時40分～16時10分	1 (117)	必基礎③ (117)			
9月25日(水)1限 8時50分～10時20分	2 (179)	口外 I (90)	口外 II (89)		
2限 10時30分～12時	2 (216)	必臨床① (110)	必臨床② (106)		
3限 13時～14時30分	予備	予備			
4限 14時40分～16時10分	予備	予備			
11月14日(木)1限 8時50分～10時20分	3 (210)	小児 I (67)	小児 II (67)	必臨床③ (76)	
2限 10時30分～12時	2 (165)	矯正 I (83)	矯正 II (82)		
3限 13時～14時30分	予備	予備			

注意：再演習試験は12月中旬までに全て完了すること。

必修演習試験の内訳 基礎①100題：解剖・組織・生理・生化・病理、基礎②69題：細菌・薬理・理工、基礎③117題：衛生、臨床①110題：修復・歯内・歯周・有床・口外・クラブリ、臨床②106題：高齢者・歯放・麻酔、臨床③76題：小児・矯正